**アルツハイマー型認知症について**

1．アルツハイマー型認知症 (アルツハイマー病とも呼びます)とは

アルツハイマー型認知症とは認知症をきたす疾患の中で一番多い疾患です． その原因は不明ですが，脳の神経細胞が減ってしまい，残った神経細胞についても，脳の信号を送る物質に対する応答を低下させます．そのために知能低下や人格の変化がおこります．

症状は徐々に始まり，ゆっくり進行するもの忘れが特徴です．古い記憶はよく保たれますが，最近の出来事を覚えることが苦手になります．そのため同じことを何度も何度も聞きかえしたり，置き忘れが多くなります．気分の落ち込みやもう想ではじまることもあります．運動麻痺や歩行障害，失禁などの症状は初期にはありません．CTやMRIなどの画像検査も正常かやや脳の萎縮が目立つという程度です．

2．アルツハイマー型認知症の症状の程度と特徴

|  |  |
| --- | --- |
| 程度 | 特徴 |
| 軽度 | * 年月日が定かでない * 食事の準備や買い物（必要な材料，支払い）で間違える |
| 中等度 | * 近所以外では迷子になる * 買い物を一人でできない * 季節に合った服，釣り合いの取れた服が選べず，服をそろえるなど介助が必要となる * 入浴を忘れることがあるが，自分で体をきちんと洗うことができ，お湯の調節もできる * 自動車を安全に運転できなくなる * 大声をあげるなどの感情障害や多動，睡眠障害により，医師による治療的かかわりがしばしば必要になる |
| 高度 | * 配偶者や子供の顔もわからない * 家の中でもトイレの場所がわからない   【着替えに介助が必要】   * 寝巻きの上に普段着を重ね着してしまう * ボタンをかけられなかったり，ネクタイをきちんと結べない   【入浴に介助が必要】   * お湯の温度や量の調節ができない * 体をうまく洗えない * 風呂から出た後，体を拭くことができない   【トイレに介助が必要】   * きちんと拭くことを忘れる，また済ませたあと服を直せない   【尿・便失禁】  【言葉の機能の低下】   * 話し言葉が途切れがちになり，単語，短い文節に限られてくる * さらに進行すると，理解しうる語彙はただ1つの単語となる   【歩行能力の低下】   * ゆっくりした小刻みの歩行となり，階段の上り下りに介助を要する |

3．中心となる症状と認知症の行動・心理症状

アルツハイマー型認知症の症状は中心となる症状（必ずみられる症状）と，それに伴って起こる行動・心理症状（必ずみられるとは限らない症状）に分けられます．中心となる症状とは「記憶障害」や「判断力の低下」などで，必ずみられる症状です．行動・心理症状は人によって差があり，怒りっぽくなったり，不安になったり，異常な行動がみられたりすることがあります．

4．アルツハイマー型認知症の治療

①薬物療法

アルツハイマー型認知症の中心となる症状を根本的に治療する薬は今のところありません．  
しかし，症状の進行を遅らせる薬があります．この薬は病気を治す薬ではありませんが，認知症の症状の進行を遅らせることができます．

また，行動・心理症状のうちいくつかの症状は，適切な薬物を使用することによって軽くなることがあります．

②非薬物療法

認知症に対する薬物療法以外のすべての治療的なことは非薬物療法といいます．認知症の人の症状にあわせた心理療法，運動療法だけでなく，介護者にも認知症について学んでいただくことも重要な非薬物療法です．特に認知症行動・心理症状では薬物に頼らない非薬物療法が初めに行われる治療になります．ケアには，精神的なケアと生活上のケアがあります．認知症の人の状況により，ケアはそれぞれ違ったものになります．

また，専門職（精神科の医師，各種療法士など）の方が行う心理療法も重要な治療で，心理療法を行っている施設もあります．

5．介護もひとつの治療です

薬物療法や非薬物療法のほかに，介護も重要になってきます．認知症の方への介護は長期にわたるため，介護者はいろいろな出来事に直面します．認知症の行動・心理症状により不可解な行動をとることがあるかもしれません．しかし，一方的に認知症の方を責めるのではなく，認知症の方の身になって考え，対応することが何よりも大切です．介護者の対応によって認知症の症状をよくすることができます．

6．アルツハイマー型認知症の経過

アルツハイマー型認知症の大きな特徴は，緩やかに発症し，徐々に進行していくことです．記憶の低下にともなって，日常生活にも支障をきたすようになります．

さらに症状が進行しますと

①寝たきりとなり，口からの食事摂取，排尿排便を自身で行うことが難しくなります．

②寝たきりの状態になりますと，肺炎や心不全などにより生命にかかわることがあります．

参考資料

１）WWW．e-65．net

２）日本認知症学会，編．認知症テキストブック

３）日本臨牀69巻増刊号10．認知症学(下)

　　　　　　　年　　　月　　　日

説明者　　　　　　 氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

説明を受けた方　 氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印